

美術科 担当教員：越智伸明

使用教材：教科書、資料集、アイデアノートなど

【学習目標／学習方法】

- ・楽しく美術の活動に取り組むことで、美術を愛好する心を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を養う。
- ・感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力を養う。また形や色彩などによる表現の技能を身につけ、創意工夫し美しく表現する能力を養う。
- ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、その良さや美しさなどを味わう鑑賞の能力を養う。

1年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年計 45h	
	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の学習 ・野菜・果物の色彩構成 ・鑑賞～美術の歴史 				夏休み	<ul style="list-style-type: none"> ・手のスケッチ ・手の塑像 				冬休み	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングの学習 ・レタリング作品制作 ・鑑賞～美術の歴史 			
時間	11					18					16			
2年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年計 35h	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターコンクール作品制作 ・鑑賞～美術の歴史 				夏休み	<ul style="list-style-type: none"> ・アートグラス制作 				冬休み	<ul style="list-style-type: none"> ・額縁制作 ・鑑賞～美術の歴史 			
時間	12					14					9			
3年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	学年計 35h	
	<ul style="list-style-type: none"> ・未来ミュージアムコンクール作品制作 ・鑑賞～美術の歴史 				夏休み	<ul style="list-style-type: none"> ・未来ミュージアムコンクール作品制作 ・「My 卒業アルバム」制作 				冬休み	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーティングカード制作 ・鑑賞～美術の歴史 			
時間	10					15					10			

<p>○授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・努力・やる気重視の授業です。完成した作品や試験の結果だけではなく、毎時間どれだけ本気で課題に取り組むことができたか、この毎時間の積み重ねが重要であり、その結果を評価します。 <p>○生徒の皆さんへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくなければ美術とは言えません。そのためには、自分を表現するためのちょっとしたコツや技術が必要不可欠です。毎時間少しずつこれらを学習し、一緒に楽しく豊かな時間を味わっていきましょう。 	<p>○家庭学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品が授業内に終わらない場合は、提出日までに各自で完成させましょう。 ・1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。 <p>○アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の積み重ねや努力が感じられる作品作りが大切です。気持ちを込めた作品作りを心がけましょう。 <p>○試験前はこのような取り組みよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で試験範囲のポイントを説明します。そこを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。
--	--

	観点1	観点2	観点3	観点4
評価観点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への関心を持ち、意欲的に制作することができる。 ・集中して制作し、密度のある作品を完成させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の内面を表現するための構想を練り、具体的に構成することができる。 ・自分らしさを重視し、自由に独創的な表現をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した表現理論・技法を用いて、工夫しながら制作できる。 ・根気強く丁寧に作業を進め、密度のある作品を完成させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の造形や美術作品についての基礎的な理解や見方ができる。 ・美術文化に対する関心を高め、その良さや美しさを味わうことができる。
評価資料	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時の制作活動観察 ・作品 ・発表 ・ワークシート ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時の制作活動観察 ・作品 ・発表 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時の制作活動観察 ・作品 ・発表 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート ・定期考査

